

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		狂犬病予防事業費 [狂犬病予防事業]										
予算科目	款 4	衛生費		項 1	保健衛生費		目 2	予防費		事業番号	2	
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		環境対策(環境)		課		環境公害		係		課長名	梶川 義夫	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 1		
【施策名】 保健・医療の充実								総合計画書(ページ)		47		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	生後90日を経過した飼い犬				→ 飼い犬の登録数(年度末)							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	① 犬が市の台帳に登録される。 ② 狂犬病を予防し、ヒトへの感染を防ぐ。				→ 狂犬病予防注射済票の交付数/飼い犬の登録数							
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	① 窓口での登録及び狂犬病予防注射済票の発行 ② 狂犬病予防集合注射の実施				① 注射済票交付数 → ② 狂犬病予防集合注射実施頭数 (②は、①の交付数に含まれる。)							
	対象指標		①の数値	人	過去2年間の実績 平成31年度実績	令和2年度実績	当該年度 令和3年度実績	成果目標 令和4年度目標		令和5年度目標		
	成果指標		②の数値	%	77.6	79.5	83.0					
3 経費	目標		②の目標値	%	80.2	77.6	79.5	83.0				
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)											
	前年度維持											
	活動指標		③の数値	①件 ②頭	①2,810 ② 557	①2,873 ② 0	①2,987 ② 323					
4 課題	事業費(実績)		円	865,020	799,398	846,432	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	865,020	799,398	846,432						
			(うち受益者負担)	円	2,332,600	2,531,120						2,462,230
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	4,155,000	4,190,000	4,125,000						
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	5,020,020	4,989,398	4,971,432							
今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 飼い犬の登録内容に変更がある場合は、飼い主からの届出が必要である。しかし、転出等の住所異動の際に届出をしなかった場合、また、死亡しても届出をしない場合など、幽霊台帳としていつまでも残ってしまう現状がある。 また、狂犬病予防法改正(マイクロチップの登録義務化によるワンストップサービスの開始)による事務手続きの変化が生じる可能性がある。												
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 平成31年4月より、市民課の「住所異動届出の際に必要な手続き一覧」の中に、飼い犬の届出を追加してもらった。また、狂犬病予防注射済票の交付を受けていない犬の飼い主への勧奨等を行う際に、高齢犬への手続きを追記して、注意喚起することで手続き漏れを解消していく。国の法改正による手続き変更の可能性については、近隣他市の状況も踏まえつつ、情報収集を行い、迅速な対応を行っていく。											